
山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター

センターだより第117号(通巻第184号)

2013年4月30日 発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@ml.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

※このセンターだよりで紹介した研究会, 研修, 教育フォーラムに関するお知らせは, 改変しない限り, 自由に複写, 配布していただいて結構です。

■ センター長就任のごあいさつ

山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター長 鳥海 順子

今年度よりセンター長を務めることになりました鳥海順子です。附属教育実践総合センターは、私が山梨大学に着任した最初の部署であり、深い縁を感じます。当センターでは教育実践研究部門、情報教育研究部門、教育臨床研究部門の3部門が、本学部と地域社会の架け橋となり、様々な地域貢献事業を展開してきました。また、昨年度には、教職支援室と連携して、教育ボランティアや教職を目指す学部生に対する支援をさらに積極的に行うようになりました。以前から、当センターでは本学卒業生（元教員）が客員教授として活躍されていましたが、現在では現職教員を含む特任教員も加わり、山梨県教育委員会との連携事業や教育実習など本学部教員養成の充実に欠かせない貴重な役割を担ってくださっています。附属教育実践総合センターは、「附属教育実践研究指導センター」という名称で平成元年に誕生していますので、今年四半世紀を迎えます。今後も時代の要請に応じ、教育の今日的課題を研究テーマとして取り組んで参ります。皆様のご協力、応援を何卒よろしくお願ひします。

■ 着任のごあいさつ

客員教授 中澤 勇三

4月より藤森顕治先生の後任として、教育実践総合センターに勤務することになりました。山梨大学を卒業以来、38年にわたり小・中学校や山梨県教育委員会等で勤務をしてきました。

近年、学校現場に向けられる地域の眼は、期待と同時に厳しい視線も含まれるようになりました。学力低下という課題と同時に、生徒指導上の問題はどの学校でも起こりうることで後を絶ちません。さらに体罰問題等も含め教員の不祥事がマスコミをにぎわすことがあります。

児童生徒の規範意識や倫理観の低下という課題だけでなく、教職員自身が襟を正し信頼回復に向けた努力を続けなければならない昨今の現状です。

そんな中で本センターの存在意義、役割は大変大きなものがあると思います。これからの教育界を担っていく若い教員を育てる仕事に携われることに喜びを感じると同時に、身が引き締まる思いです。関係者の皆様のご指導やご協力を頂く中で微力ではありますが努力して参ります。よろしくお願ひします。

■ 平成25年度「期間採用者等研修」のお知らせ

平成25年度 期間採用者等研修を下記のとおり開催いたします。

参加費は無料で、学生の皆さんは研修1・2、特別研修Bに参加可能です。 5月17日(金)までに実践センターに申し込むことになっておりますが、当日も受け付けております。

講師名や時間設定など、より詳しい内容は、実践センターのホームページで御確認ください。

日時：平成25年5月25日(土) 午前9:10～14:30(特別研修は16:45まで)

会場：山梨大学教育人間科学部 Y号館1階会議室

研修内容：

研修1：教科等指導法研修 9:30～11:30

校種別研修「児童・生徒を引きつける授業の工夫」

- ・小学校、中学校、高等学校の3部会に分かれ、現職教員の講演、グループ討議・質疑などを行います。

研修2：学級経営研修 12:30～14:30

校種別研修「児童・生徒理解と学級・ホームルームづくりのヒント」

- ・小学校、中学校、高等学校の3部会に分かれ、現職教員の講演、グループ討議・質疑などを行います。

特別研修：「教職に関する特別研修」 14:45～16:45

※特別研修については、学生は研修Bのみ受講可

研修A「教師の自己表現力」

研修B「教職に役立つ教育法規・制度の知識」

■ 教育ボランティアガイドスのご報告

平成25年度戦略的プロジェクトー地域連携事業支援プロジェクトー教員志望大学生による支援事業として、本年度も教育ボランティア活動が実施されます。4月17日(水)に本学N-11・12教室において、前期教育ボランティアガイドスが開催されました。このガイドスは学生運営委員会の学生によって企画・運営され、150人を超える学生が参加しました。

中村学部長、鳥海センター長(ボランティア委員会委員長)の挨拶や活動概要の説明に続き、各ブースに分かれて受け入れ先の説明が行われました。今年は、山梨県教育委員会や各市教委など19か所の機関や学校が活動内容等について説明を行いました。

教育ボランティアは、半年・1年と長期にわたって同じ現場で子どもたちに関わるので、教育実習と違った体験や子どもたちの成長を見ることができると思います。ボランティア受け入れ先も年々増加しており、平成24年度は小中学校や教育機関など66か所になりました。将来、教員を目指す学生の皆さんが実践的な力を養ってくれることを期待しております。



中村学部長 挨拶



鳥海ボランティア委員長 挨拶



学生運営委員長 挨拶



受け入れ先からの説明

■ 「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談」・

教育相談室に関するお知らせ

相談スタッフを募集します。新しく着任された先生やまだ登録をされていない先生方は是非、ご協力をお願いします。新規登録や相談日時の変更等は教育実践総合センター事務室まで電話、メールなどでお申し出ください。

また、「教育相談室（L-428）」及び相談室の備品をどうぞご利用ください

「教育相談室」のご利用に際しましては、事前に附属教育実践総合センター事務室（J号館4F）にて空き状況を確認の上、ご予約ください。火曜日は附属教育実践総合センターが優先的に使用させていただきます。鍵はJ号館1階支援課にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。

教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出しております。借りる際には必ず使用ノートにご記入をお願いします。

これまでのセンターだよりの一部は、 <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見ることができます。